【案】
令和七年度　長生中、一松小
令和八年度　高根小、八積小
・村体育館及び武道館も中学生の部活動や社会人の社会体育活動に利用されており、村体育施設運営審議会からエアコンの必要性が指摘されていることから、令和八年度に設置できないか検討いたします。

『防災・福祉・健康他については次号で報告します』

数字から読み解く村長選挙

六月三十日執行の村長選挙は、表一のとおりでした。

ここでは、二〇一六年の村長選挙結果との比較や村選挙管理委員会発表の「当日有権者数及び投票結果報告書」、情報公開請求から入手した「期日前投票の年齢別投票者数に関する調査」から、今回の選挙を考察してみたいと思います。

まずはじめに、前回の二〇二〇年の村長選挙が無投票となったことで、比較の対象が八年前の選挙であること、また、今回の当日投票の年齢別投票に関する資料がない状況では正確な比較が難しく、当日投票の年齢別投票率が期日前投票と同程度であろうとの前提での考察であることを記しておきます。

今回の村長選と八年前の村長選の大きな違いの一つは、投票率です。八年前は六八・四八％で今回は五三・九九％と過去最低とのことでした。では、投票率が下がった要因はなんでしょうか。

表１ 長生村長選挙開票結果

投票率53.99%

番号	当落	氏名	得票数
1	当選	おだか陽一	4,088
2		横坂けんじ	2,146

表2 2016年6月19日長生村長選挙開票結果

当日有権者数12,147人　投票率68.48%

番号	当落	氏名	得票数
1	当選	おだか陽一	4,283
2		石井俊雄	3,926

おだか陽一の得票は八年前が四、二八三票で当日有権者数の三五・二五％でした。今回は四、〇八八票で三四・九八％ですから、割合としてほぼ変わっていないことになります。

しかし、対抗馬である石井俊雄氏が八年前に三、九二六票で三二・三二％を獲得したことに比較すると、今回の横坂けんじ氏が二、一四六票にとどまり得票率も一八・三六％にとどまったことがわかります。ある意味、横坂氏が得られなかった約一四％の得票がそのまま得票率の差一四・四九％の大きな要因であると言えるでしょう。

年齢別投票を見てみると、六〇代、七〇代が最も高く、選挙の最大の争点と思われた給食センター建設に最も関わりがある二〇代から四〇代の子育て世代でも一〇％から一六％でした。

ここだけ見ると、子育て世代でもこの給食センター建設自体が争点化することなく、おだか陽一が主張した「温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たいまま食べられる」「安心・安全のアレルギー対策ができる」「給食センターの建設費は四か所の給食室を改修するより安上がりとなり、給食費を無償にできる」との主張が、子育て世代のみならず様々な世代から支持されたのではと思われます。

表３ 当日有権者数及び投票結果報告書

当日有権者			投票者数		
男	女	計	男	女	計
5，767	5，919	11，686	3，078	3，231	6，309

棄権者数			投票率		
男	女	計	男	女	計
2，689	2，688	5，377	53．37	54．59	53．99

村長自宅入口に立つ看板

七月十九日、熊谷俊人千葉県知事後援会から政治活動用看板の設置依頼がありました。

県内十七町村の中で一番最初だそうです。

表４ 期日前投票の年齢別投票者数に関する調査

年齢	有権者数			投票者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10代	125	104	229	9	10	19	7.2	9.62	8.3
20代	558	503	1061	49	62	111	8.78	12.32	10.46
30代	546	491	1037	62	79	141	11.35	16.08	13.59
40代	859	802	1661	120	150	270	13.96	18.7	16.25
50代	1055	974	2029	191	201	392	18.1	20.63	19.31
60代	928	898	1828	219	244	463	23.59	27.17	25.32
70代	1079	1144	2223	261	323	584	24.18	28.23	26.27
80以上	617	1005	1622	121	216	337	19.61	21.49	20.78
合計	5767	5919	11686	1032	1285	2317	17.89	21.71	19.83